

第22号

盛隆会だより



京都府知事 西 脇 隆 俊

未来を切り拓く

ひら

京都からのち輝く

あけましておめでとうございます。会員の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、平素より温かく、力強い御支援を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

また、昨年11月25日には第2回茶話会を開催いただきました。大変多くの会員の皆さまにお集まりいただき、厚くお礼申し上げます。皆さまとお話する機会もいただき、貴重な時間を過ごすことができました。改めて、開催に御尽力いただいた役員の皆さま、そしてお集まりいただいた会員の皆さまに心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、元日に能登半島地震が発生し、8月には初めて南海トラフ地震臨時時（巨大地震注意）が発表され、9月には、被災地の能登において豪雨災害もございました。

改めて「危機管理」の重要性を痛感した年でもあり、新しく設置した「京都府危機管理センター」を拠点として、全ての営みの土台となる府民の皆さまの安心・安全の確保に全力で取り組んでまいります。

一方で、昨年は、府立植物園や京都丹後鉄道・宮津線が100周年を迎えるとともに、国内最大規模の国際スタートアップカンファレンス「IVS」を2年連続、京都で盛大に開催し、次の100年に向けて多様な価値を生みだしていく新たな一歩となった1年でもありました。

また、都として交流の中心地であった京都には、人々や文物が行き交い、そうした交流の中から人々の心の発露が文化という価値となつて、京都から各地へもたらされました。新しい価値は、絶え間ない交流から産まれます。文化庁とも手を携えつつ府内各地の多様な文化の掘り起こしや磨き上げを行い、京都が守ってきた「人とのつながり」を大切に、誰もが未来に夢や希望を持てる「あたたかい京都づくり」をさらに進めてまいります。

いよいよ4月には、大阪・関西万博が開幕します。日本における最初の博覧会が1871年にここ京都で開かれて以来一世紀半。今も昔もイノベーションが京都で生まれ続けているのは、技術の進歩を人々の幸せに結びつける文化と心根が京都に息づいているからにほかなりません。今こそ私たちが大切に受け継いできた「継承」と「創造」の精神で新しい価値を生み出し、世界の人々を府内各地へいざない、大きな交流をつくりだすことで、京都からのち輝く未来を切り拓きたいと考えております。

今年は、再生と変化を象徴する巳年。時流を柔軟に捉え、努力を重ねながら、皆さまと共に進んでまいり所存です。今年一年の皆さまの御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

ご挨拶

盛隆会会長 田 中 誠 二

新年明けましておめでとうございます。

盛隆会会員の皆様におかれましては、お健やかに新年を迎えになったこととお喜び申し上げますとともに、日頃より西脇知事に対しまして格別のご支援を賜っておりますことに心より厚くお礼申しあげます。

いよいよ、今年には西脇知事2期目の最終年となります。4月から開催される大阪・関西万博における「きょうとアクション」の取り組みはもとより、万博会場以外でも京都全体として世界中からの多くの訪日入浴者を迎え入れることとなりますが、その牽引者としてご活躍されることと期待しております。

一方、国内外の情勢についてなおも不安定な状況にありますが、京都府政におきましては西脇知事の安定した舵取りを行っていただいているところであります。新しい京都府総合計画がスタートして2年、「安心」「温もり」「ゆめ実現」の三本柱による「あたたかい京都づくり」を着実に進めていただくとともに、会員の皆様のご支援・ご協力が引き続き必要です。今後とも会員拡大も含めましてどうぞ宜しくお願いいたします。



結びに、会員の皆様には益々のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

事務局からのお願い

盛隆会会員の拡大についてご協力をお願いします

盛隆会の拡大・発展を図るとともに、府民生活の安心安全と府民経済の発展に向けた、西脇隆俊知事の尚一層の活動を支援するため、さらなる新会員のご入会の取り組みを進めております。ご紹介、ご勧誘の程、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

令和7年の会費納入について

盛隆会の会計年度は、暦年制（1月から12月まで）としております。会費は1口3,000円以上で、**個人名義**でお願いしております。（1口以上、何口でも歓迎しますのでよろしく願います。）

7年分会費は、郵便振込票（赤伝票）を同封しておりますので、よろしく願います。

既にご納入いただきました皆様には御礼申し上げます。なお、赤伝票による郵便振込口座の他に京都銀行にも口座を設けておりますので、ご活用いただければ幸いです。

銀行口座：京都銀行 府庁前支店 普通 4182688
口座名義：セイリュウカイ カイケイセキニンシャ タカイシ ヨシフミ

事務局の勤務体制について

事務局には、火曜日本曜日の午後（13:00～17:00）に職員が駐在しておりますので、ご連絡・お問合せ等ございましたら、この時間帯にお願いいたします。また、お近くにお越しの際は、是非ともお立ち寄りください。

〒602-8026 京都市上京区新町通丸太町上ル春帯町349-2 仙石ビル305号
電話(075)254-8553 FAX(075)254-8554
mail: seiryukai@wind.ocn.ne.jp

発行所 盛隆会事務局
発行責任者 高石佳文

第2回盛隆会茶話会を開催

令和6年11月25日（月）ホテルグランヴィア京都において西脇隆俊京都府知事と会員との交流の場として「第2回盛隆会茶話会」を開催しました。

当日は、平日昼間の時間設定にも関わらず皆様のご協力の下、134名の参加をいただいたところです。

今回の茶話会は、田中誠二盛隆会会長の挨拶の後、西脇知事と各テーブルでの交流時間に多くの時間を割いた形での取組とさせていただきました。テーブルごとに、懇談のあと記念撮影を行うなど充実した内容となりました。

第2回 盛隆会 茶話会



知事挨拶



田中会長開会挨拶



懇談②



懇談①



安藤副会長閉会挨拶



会場風景①



会場風景②

令和6年12月補正予算

今年度は、「安心」「温もり」「ゆめ実現」の3つの視点から「あたたかい京都づくり」を加速化するために編成した当初予算に加え、6月補正予算、9月補正予算において、大阪・関西万博に向けた準備、府民生活や事業活動を守る対策、府市連携の推進などに必要な予算を計上し、現在その予算執行に全力を挙げて取り組んでいるところですが、12月補正予算では、今後の契約等に必要な債務負担行為(※)の設定を行いました。

■ 京都アリーナ(仮称)整備等事業費

債務負担行為 **34,852百万円**

向日町競輪場内に京都のシンボルとなるアリーナを整備

伊藤忠商事(株)を代表企業とするグループを優先交渉権者に選定

「民間のノウハウや創意工夫を活かした「利用者満足度の向上」や「府民負担の軽減」につながる提案を受けて、維持管理・運営を見据えた施設整備を実施

■ 施設規模

・他の施設との競争性を高めるため、必要な施設規模を確保 9千人規模

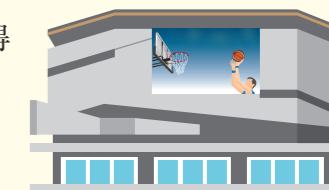
■ 施設整備

・公共事業での整備に比べて23.5億円のコスト削減
・さらに、ネーミングライツ収入として10年間で12億円を獲得

■ 維持管理・運営

・施設規模や仕様の拡充により稼働率の向上等を図ることで、運営開始当初10年間は「府の負担なし」

⇒ 公共事業で整備・運営した場合と比べて府民負担を軽減



■ 京都駅周辺エリアまるごとゲートウェイ事業費

債務負担行為 **89百万円**

万博期間中において、京都駅周辺エリアを京都の文化や芸術を感じられるウェルカムエリアとするとともに、府域への誘客を促すゲートウェイとするため、オープニングイベントの開催等に向けた企画検討など事前準備を加速



■ 府営住宅向日台団地整備事業費

債務負担行為 **433百万円**

令和4年度からPFI手法により推進している府営住宅向日台団地の建替事業について、建設資材単価等の上昇に伴い予算を増額



※(参考)債務負担行為

数年度にわたる建設工事や翌年度以降の経費支出、債務保証又は損失補償のように債務不履行等の一定の事実が発生したときの支出を予定するなどの、将来の財政支出を約束する行為。